

# 労災防止へ福井でパトロール

## 北陸ガラス外装クリーニング協会

北陸ガラス外装クリーニング協会（齋藤富治会長）は27日、福井安全パトロールを行った。パトロールを通じて作業員の安全に対する意識を再確認するとともに、パトロールを行う側の安全対策への見識も高め、労働災害防止につなげるのが狙い。

この日は齋藤会長、杉本健一副会長、林真次理事が参加。福井県、ヒルメソテナンス協会と合同とし、福井労働局の脇本泰守地方産業安全専門官も立ち会った。

パトロールでは、AOSSA（J R福井駅前）で行われている窓ガラスのクリーニング作業をチ

ェック。まず屋上まで上がり、安全帯の装着や墜落阻止器具の使用などを細かく確認。また、強風など作業の中止条件も聞き取り、現場に風速計の設置を検討するようアドバイスした。

屋上での視察を終えた一行は、引き続き地上からも作業を見守り、齋藤

会長は、「この現場はしつかりと社員に安全教育ができています。今後も継続し、無事故・無災害でお願いしたい」と話して



作業状況を確認する協会員ら